



第 87号

編集  
代田・九条の会  
小澤 清子  
伊東 宏

代田・九条の会News

2016/2/14

itohiroshi1007@gmail.com

ホームページ : <http://www.procyon.sakuraweb.com/>

## 「2016年をどう戦い抜くか」

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」主催のシンポジウム「2016年をどう戦い抜くか」の統一集会在1月23日・午後、北とぴあホール（王子駅近く）で開催された。王子駅を降りると署名運動の人たちが立ち並び、整理券が発行され、定員1300人のホールは立見席が出るほど多くの人が参加した。

はじめに各野党代表のアピールがあり、連帯の言葉として、「アベ政治を許さない」の揮毫者でもある俳人の金子兜太さんが挨拶。97才とも思えない足取りと若々しい声で、「言いたいことはただ一つ。安倍政権を倒すために頑張ろう」と、朗々とアピールされ、満場割れんばかりの拍手を浴びた。

評論家・柄谷行人さんの基調講演「憲法九条の今日的意義」が行われた。権力サイドは憲法九条を改定するより、安保立法他のさまざまな手口で九条の無力化を図るだろうという趣旨の話で、私には多少物足りなかった。

最後にメインイベントである「イヤな時代をどう押し返すか」というテーマのパネルディスカッションに移った。山口二郎・法政大教授がモデレーターを務め、パネリストは、映画監督の森達也さん、青井未帆・学習院大教授、三浦まり・上智大教授とSEALDsの諏訪原健さん（筑波大・大学院生）の4人。

議論は、初めに権力サイドの陰湿な圧力・集団化の現状が紹介され、それをどう押し返していくかについて活発な意見が出されて、有益であった。

目の前の事柄に一喜一憂しないで憲法改悪の一里塚にしたい安倍政治に抗して来たるべき参議院選挙に頑張ろうと締め、全員拍手で閉会したが、気持ちの良い集会であった。（代田5丁目・野間口 至）

## 戦争法廃止を求める2000万署名を共に 代田・九条の会が下北沢で宣伝・署名行動

1月31日、下北沢オオゼキ前。代田・九条の会ののぼりのほかに、総がかり行動実行委員会ののぼりや横断幕、ポスターなどを立てたり、張り付けたりして、人通りの出る午後3時から宣伝・署名を訴えました。

日曜日で小田急線の工事も休みということもあり、ハンドマイクの訴えや署名の訴えに足を止める人も。「もう署名したよ」とニコリ笑って声をかけていく人。幼い子供を抱いた若い夫婦や、カップルなど、今まで少なかった層の署名が、これまでの高齢女性の層に加わってきた感じがしました。

代田・九条の会の独自のチラシも配りながら、1時間で51筆の署名が集まり、全国で声をあげて行動していくことが運動を拓げていくことにつながると感じました。

2月は11日（木）午後3時から同じ場所で予定しています。（代田1丁目・岩瀬 薫）



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

## 安倍首相の「改憲」発言続く 明文改憲へ大きく「挑戦」か

昨年の戦争法の成立後、初の国会が1月4日から開かれている。2016年度の予算案が国会に提出され、予算委員会で論戦が始まった。2月3日から各党の質問と政府答弁が交わされているが、安倍首相の答弁が際立ってきている。昨年は明文改憲が言い出せなくて、解釈で重大な憲法破壊を行い、違憲の法律を強行成立させた。

その法律ができると「憲法9条第2項は現実には合わないから変えるべきである」という。朝日新聞2月6日付の社説も「首相の改憲論 余りの倒錯に驚く」としているほどだ。一昨年以来の一連の安倍内閣の動きを振り返ってみると、国会での議論を一切しないまま「閣議決定」の形で「集団的自衛権の行使」を容認した。また、アメリカに行って約束をしてしまうという暴挙を行ったうえで、安保法制法案を国会に提出し、強行採決によって成立させたわけである。

このように、立憲主義を覆し、憲法に違反する法律を作っておいて、憲法が「合わない」から変える、というのは論理的にもおかしいのではないかと、思う。

今年になって安倍首相は「挑戦」という言葉を意識して使ってきている。また、夏の参議院議員選挙を意識して経済面での布石を着々と打ってきている。こうした背景の下で、いわば本丸としての憲法改正の動きを本格化させているのが現状であろうか。

予算委員会などでの首相答弁を聞いていると、「改憲」を言わないのがおかしい、自民党は草案を出したのだから対案を出せ、という。今までの憲法のありようと果してきた役割を考えるならば、憲法をさらに生かしていくことの方がよほど重要である、と思う。違憲の戦争法を廃止させるために、国民の中に訴え、2000万署名をやりぬき、夏の参議院選挙できっぱりとした審判を下すことが大切だと思う。(代田2丁目・伊東 宏)

### 九条の会 安倍首相に抗議する緊急アピール

安倍晋三首相は、2月3日と4日と5日の連日、衆議院予算委員会の審議において、戦力の不保持を定めた憲法9条2項の改定に言及しました。その際に、「7割の憲法学者が自衛隊に憲法違反の疑いをもっている状況をなくすべきだ」という逆立ちした我田引水の理屈や、「占領時代につくられた憲法で時代にそぐわない」という相も変わらぬ「押しつけ憲法」論などを理由に挙げました。これらは、同首相が憲法9条の意義を正面から否定する考えの持ち主であることを公言するものに他なりません。

昨年9月、政府・与党は、多くの国民の反対の声を押し切って、日本国憲法によって立つ立憲主義をくつがえし、民主主義をかなぐり捨てて、9条の平和主義を破壊する戦争法(安保関連法)案の採決を強行しました。この時は、「集団的自衛権の限定行使は合憲」、「現行憲法の範囲内の法案」などと従来の政府見解からも逸脱する答弁で逃げ回りました。ところが今度は、そうした解釈変更と法律制定による憲法破壊に加えて、明文改憲の主張を公然とするに至ったのです。それは、有事における首相の権限強化や国民の権利制限のための「緊急事態条項」創設の主張にも如実に現れています。

私たち九条の会は、自らの憲法尊重擁護義務をまったくわきまえないこうした一連の安倍首相の明文改憲 発言に断固抗議します。2007年、9条改憲を公言した第1次安倍政権を退陣に追い込んだ世論の高揚の再現をめざして、戦争法を廃止し、憲法9条を守りぬくこと、そのために、一人ひとりができる、あらゆる努力をいまずと始めることを訴えます。

2016年2月8日

九条の会

### 集会等の紹介

2月28日(日) 15:00~16:00

3月20日(日) 15:00~16:00

### 代田・九条の会 2000万人署名行動

下北沢・オオゼキ前

19日行動 【主催】戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

2月19日(金) 18:30~ 議員会館前を中心に行動

私たちはあきらめない！戦争法を廃止へ！安倍内閣は退陣を総がかり行動

3月19日(土) 13:30~ 日比谷野外音楽堂で集会、その後銀座デモ

(詳細は未定)



お問い合わせ：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。  
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。